夕刊

磐城新聞

十一月十三日發行

定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢(郵稅拾五錢)
廣告料 普通欄 一行金六拾錢 特別欄 一行金九拾錢(五號十二字詰一行 場所指定一行倍額)
編輯印刷兼發行人 柏木哲 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
發賣所電略(タイライワキ) 平局私書函第十二號 電話五六四番

(日曜祭日翌日休刊)
東京振替一〇八五五六番

天氣豫報
小名濱測候所發表

今晩も明日も北西の風曇時々晴

長面子氏にお答へ申す
平華生

(五)

川柳と狂句の定義?に就ては過日の紙上でよく承りました。私も大体御高見の通りに考へて居ります、が私としては川柳と狂句の區別の一寸つけ兼ねるものが出來る場合があるのであります。天地間の森羅萬象何れも歌や句にならないものはないと思ひます。然し花鳥風月ばかりを詠んで自然を讃美するを風流事なりとめ得て居る方もありますが私としては森羅萬象皆師なりの見地からその何れからも何かを教へ何かを訓へられたいと思ふて居るのであります。その意味に於て輕妙洒脫の內にいろ〳〵のことを訓へてくれる川柳就中古川柳を特に好むのであります。猶その言はんとする目的を里耳に入り易く率直に大膽に詠み得る點に於て是も川柳が効果的だと思つて居ります。新しい川柳の中にも却々佳いものがありますが殊に古川柳に何とも言へぬいゝものがあります私の知つてるものゝ中から二、三を擧げて見るならば

おころ氣で笑つて終ふ子煩惱
雷を眞似ねて腹掛やつとかけ
いゝ聲で來た新內の眼が一つ
不承知は娘額にしわをよせ
新世帶强飯が出來粥が出來
口ばかり暗く〳〵叩く下手按摩
疊屋は腕も道具の中に入れ

等々であります。右の古川柳の中にも狂句だと云はるものがあるかも知れません。然し私個人としてはどちらでもいゝと思ふて居ります。從て私の作句もその出來上りに於て見て下さる方の思ひ々々にお委せして川柳と見てくれ狂句と見てくれ等と何等拘泥らぬことに致して居ります

11月14日 ―― △獨哲學者ヘーゲル歿(一、八三一)△佛畵家モネー生る(一、八四〇)△獨政府ヴエルサイユ條約河川條項廢棄を通告(昭和一一)

11月15日 ―― △松永光德歿(承應二)△獨戲曲家ハウプトマン生(一、八六二)△フイリツピン始政式△海軍定期大異動發表(昭和一〇)

拜國幣中社大洗祠
珠雲 小野務中

嘉木千章爵掩天
丹楹碧棟自森然
神靈萬古嚴難冒
鮫鰐藏形伏社前

祭
武田勇治郎

背戶の柘榴の實が割れて
――村の祭が來るところか

藤棚の實がゆれながら
――里の祭の笛が鳴る

柴栗落ちて日は短か
――皆んなが待つた祭だよう

講談 悲戀 髑髏組(どくろぐみ)
林杢兵衛作　金子士郎畫

(44) 廻る小車(五)

『左樣致されや不本意ながら止むを得ぬ、隙があらば何處からなりと』

初夏の風に髮の毛をなぶらせながら、平然として動ずる氣色さへ見えぬ島宗刑部だ

『小癪なッ!』

憤然として横樣に薙ぐ藤三郎の一刀を、身輕に飛び退いて避けながら、ニンマリ浮べた片笑窪

『怨龍屋。危ないから暫時傍らへ退いて居れ』

注意する刑部の聲に應じて勘太と小六が

『おやア旦那、次の宿場でお待ち申して居りやすよ』

と、どちらにも肯づける都合のいゝ返辭を殘して、岐れ路を左へ急いだ(刑部が指圖をしたのは確かに右――)

怨龍の中の幾代は氣がついて

『路が違ひます!』と、懸命になつて制止をする

『大丈夫で御座んすよお孃さん、右へ行つても左へ行つても、結局同じところへ出る細路で御座んすから――』

『さう? それならいゝけれども大丈夫か知ら?』

『なんで御座んすい?お孃さん』

『刑部のお身の上……』

『へッへ何んだと思やア――御心配にや及びませんよ、此方の勝目は充分でさアな相棒』

勘太は小六への同意を求めて話しかけた

『さうとも、最切つからどうもこつちの旦那が相手を呑んでゐた、すべてあゝ云ふ喧嘩の場合にやア焦つた方に勝目がねえとしたもんだ此方の旦那のやうに、刀ィ手ヶ掛けねえで、何處からなりと掛つて來いと云ふ落つきやうぢやねえと駄目だからあの勝負は天から段違え、やつて見ねえでもこつちのものでさア』

口輕に喋舌りたてるつばくら小六、幾代も心のうちで、さうとは固く信じながらも、矢ッ張り結果を知るまでは心配だつた

『でも、勝負は時の運と云ふこともあるから――』

『冗談ぢや御座んせん、そりや腕前が互角の者同志の勝負でさア、あの段違えちや强い方が勝に決つてまさア、お孃さんの心配はまるで鷲が雀に勝つか知らと思ふやうなもので、刀を合すも合さねえもねえ、もう今頃はあつさり片がついてゐませうよ』

『さうか知ら……』

心配さうに垂を捲つて首を出す幾代

小六から云はれて見ると、そんな氣がせんでもない幾代。代官倉持六郎太の時も、井筒藤三郎もなる程さうであつた

今の幾代は、自分の取越苦勢が可笑しくなつて

『でも、雀でもあんまり可哀さう……』

と、朗かに打ち消した

『そりや、鷲だつて爲だつてよう御座んすがね、どつちみつち鷲にやア敵はねえ相手ですからね……はてなそれはさうと變な處へ出ちまつたぞ』

立ち止つて小首を捻る小六

『どうしたんです?』

『こいつア偉え失敗だ、矢ッ張りお孃さんの仰有つた時、右へ行けばよう御座んしたよ。あつしが强情だつたばつかりに、飛んでもねえ處へ來ちめえました』

『どう? 細道ぢやなかつたの』

『細道どころか、飛んでもねえ瓢箪道で、何處へ行くか判りません』

秋
石田露花

○枕べに蚊帳を置きてそのまゝにねむる夜毎もたのしみなれや
○工場の隅に啼き澄むこほろぎは聲のかぎりをたのしむごとし
○秋もややふかしと思ふつゞれさせ月の下びにその音とほるも
○あはただしき一夜の宿に書きにしか君が部隊名は判じつゝ讀む

秋の隨筆
月原生

一

秋の感傷
(A・アサ)

新らしくない
屑くたさ
襟につんとくる
もだもだ悸
いきどほろしさ
へい御免 ――(一)

あんまり甲斐性なし
秋のアサでも
そいじや背戶へなあ
瓢箪ぶらさげよ

これは、最近贈られた未知の柳雪君の新民謠集『宵い手帖』の卷頭の一篇である。

從來の民謠に見ない特異な感覺を見せてゐることを先づこの一篇から私はおぼわる。むろんこの一篇のでなくこの他の大部分がそのやうに私には思へるのである。この一篇にしてからが

『襟につんとくる
もだもだ悸』

などゝ云ふ憎らしいほどのガッチリした表現で、或ゝ朝の出勤前の腰辨のもやもやした感情を、云ひかへれば何かにつつかゝりたい不滿をぶよぶよしたソフトカラーよれよれのネクタイにぼやいてゐる、しかもそれがすつきり晴れた秋の空の朝のことである

甲斐性なしの自分と私の朝、いきどほろしさが、ぴよいと自分でもおかしくなつて、そいじや背戶へなあ瓢箪ぶらさげよとつぶやく いやつぶやくのではなくわざわざ瓢箪をぶらさげて、そのおかしさに笑つてゐる 笑つてゐるのではなく自嘲してゐるのだ。それよりも何かしら泣きたくなつてゐるのだ

秋風はそんな氣持にかゝはりなくさやさやと快くなつてゐる

夜間診療

胃腸 性病 科醫院 松村
(平市南町電一〇七番)
專門
內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
(見習看護婦募集)

東北産多産系種狸、獨乙系アーシンフエッチチヤーマン種山羊分讓
土地建物
電話金融
種狸分讓
福島縣平市揆槌小路壹番地
乾産業合資會社
平 電五五五番

酒とマヅイ
おでんの榮ちやん
平市田町花ノ里 電話三三番

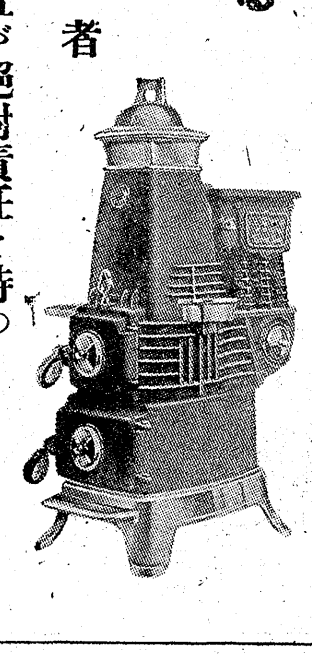
おでん
一平(イッペイ)
電話二六三番

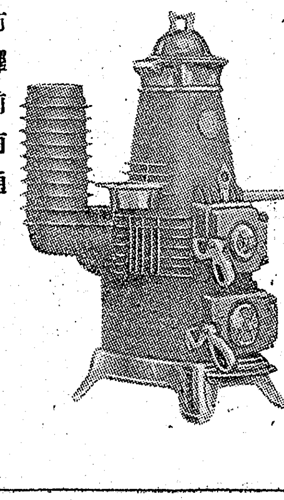
銃後の活躍に
絕對無故障
フタバのリヤカーと自轉車
只今製造工場と協力して銃後特別奉仕大特賣會を開催中です。
フタバ商會
平市。新川町。郵便局前

松村醫院
院長 松村鐵郎

中古各種レール鐵管
礦山用機械器具類
製鐵原料問屋
二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達
銅鐵 機械
(KS) 井尻七三郎商店
福島縣平市鍛冶町十一 電話五二二番
荷受場 平市鍛冶町廿三番地
倉庫 平市鍛冶町九番地
御買上品精々御安く納品致します
御拂下品は精々御高値に買受ます

◇防寒の御用意には
信賴集る
暖爐界の第一人者
▽三菱商事會社が絕對責任を持つ
▽燃料の經濟なる
▽再然燒器附の國神ストーブをお奬め致します





特約販賣御希望のお方は御申込下され度候
三菱商事株式會社
特約販賣店
郡山市驛前南通り
株式會社 東北石炭商會 電話七四九番
平市壹丁目
伊藤軍一商店 電話三四九番

上原家政婦會
平市紺屋町一一
會主産婆 上原通子 電話二一二番
産婆看護婦資格有者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

御知らせ
杵のおでん
杵のはまなべ
イツモ喜んで戴くのが當店の自慢
…味は江戶前、種は江戶から…
例年の通り本日より始めました。御用命願ひます。
評判ト實際ノ店
杵壽司本店 電六七九番
杵壽司支店 小名濱電四七番
『出前迅速』

酒は良し
氣分は滿點
おでん
呑兵衛
平市田町

千六百二名の多數中 滯納者はたつた一人
平税務署空前の快記錄
時局は反映す

勇猛果敢な戰線の活躍と呼應して銃後に國民の納税義務が著しく強調されつつあるは時節柄眞に喜ばしい事である。之を地方の一小局部に就て觀ると、去月中は恰も增税後第二回の個人所得税第二期分(年額四分の一)及び日支事件費の一部に充當する爲本年度創設された右所得税を基本として賦課される所得特別税第一期分(年額三の二)の納期に相當するので昨今の時局が納税成績に果して如何に反映するかを刮目してゐた處所得税三萬二千七百八十八圓、納税人員千六百二人の多數中四倉町に只一人の滯納者があつたのみで平市の五百二十一人を筆頭に他は各部完納と云ふ同署創設以來の好成績を擧げたと同時に所得特別税三千二百七十八圓は時局と最も關係の深い事件費の一部と云ふ不動の信念から管內一人の滯納無く彼此地方空前の好成績に當局を喜ばせてゐる

同自治會館に開き終つて從業員の慰安會を催す

東北振興豫算 郡下の割當決る

東北振興聯合會の十三年度豫算本郡下割當額は五十六圓、一ケ町五圓、一ケ村一圓の割にきまつた 聯合會總豫算額は三千九百七十一圓でうち縣割當は五百六十一圓であると

臨時出納檢査員決る

平市參事會は今十三日午前十時から開いた結果臨時出納檢査員は荻原義雄、島目雅治、酒井濱の三氏にきまり防空演習費は精神運動を主眼に最少限度として金五百五十圓を計上これに伴ふ十二年度更正豫算を議決した

陣中を聽く (17)
以前の排日中心地に 日の丸躍る明朗風景
內郷村小島出身 坂本義果君通信

九月二十八日○○に無事着きました、至つて元氣です。此所は大きな町です。そして外觀の裝飾は實に綺麗なものです。支那商人の特有性がゴテ〳〵現はれてゐます。以前此所は北京と同じく北支での排日の最も熾烈な處だつたさうです。學校教育に於ても其が激しく共産黨と排日を結びつけて生徒に教へ込んだそうです。私達の泊つてゐる宿舍は學校ですが隨分排日資料があつたさうです。こんな物騷な處だつたのですが今ではあちらこちらに日の丸の旗が立つて居り、最も私達を喜ばせたのは日本租界を通つた時日本人が私たちの爲に歡迎して呉れた事です。それは少人數でしたが遠く離れて來てゐますと全く嬉しいものでした。此所は秋は無いでせうが、良く晴れた紺碧の空は美しく高粱畑の上を赤とんぼが弧を描いて飛ぶあたり內地の秋を想像出來ます。氣温の良い此の秋戰線に向ふ私達は武者振りつく程元氣です ・(九月三十日)

前線で活躍
市內平窪出身 金古義弘君通信

——當驛は○○線戰線の第一位驛、附近は○兵陣で○兵陣は○町前方に在り、次驛○○○驛を占領したもの如く、廿一日から三日間連續砲擊するも三ケ年にして築いた敵陣地は容易に攻め得ず・神速果敢の皇軍はトーチカ、水濠等ありて(中略)今朝六時後方○○驛との中間にて線路破壞され列車脫線事故あり、救援兵を編成特急修理に邁進中に有之且當驛は第一線故敵彈丸飛來して誠に危險の位置に御座候(後略)九月二十三日

銃後に備へて 入山第二磐炭國婦結成
今後の活躍期待さる

銃後の各婦人會はいま目ざましい活躍を續けてゐるが入山でも今度國防婦人會を結成、今十三日午後一時から同礦自治會館でこれが發會式を擧行
會長中村勞務係長の挨拶に次いで國歌合唱、松田小山田正副部長祝辭、大貫重役の訓示あつて式を閉ぢた
尙第二磐城炭礦でも同樣鞏固な國防婦人會を結成、二十一日午前十時から集會所で發會式を擧行・銃後運動に乘り出す

第二磐炭 青年總會

磐崎村第二磐炭長倉坑では昨十二日午前九時から同礦集會所に青年總會を開き產業強化・戰病歿兵家族慰問其他を協議した

お正月のお餠は高い
―昨今の相場から觀た― 市內お米屋さんの話

霜月もはや半ば、あと五十日足らずでお正月が來るのでそろ〳〵モチ米の値段がお台所の話題に上つてゐる處か今年は『チト高いかも知れませんよ』と市內のお米屋さんの豫想はあまり結構な話ではない
從來モチ米の相場を左右してゐた茨城、臺灣ものが今年は不作だつたのでベラボウに値がよく、最近の相場は從來と相反して鰻上りの白米相場を凌ぎ、十三圓台と云ふ素晴らしい値段
これが正月まで持ち續けるらしい處から高値豫想となつたものだがお米屋さんの仲間には元來モチ米を贅澤品としてゐるので『モチ米の高いのは好景氣の前兆』と嬉しい觀測を下してゐるさうである

入山自治會總會

入山自治會第十二回定期總會を來る二十五日

平神橋開通式
時局柄ごく內輪に 來十六日擧行

平—神谷を結ぶ新橋『平神橋』の開通式は明十四日のところ防空演習の準備などで延期、十六日午前十時から會場を同橋東岸に設けて擧行することに決つた
修祓 降神 獻饌 齋主祝詞 玉串奉奠 撤饌 昇神
に次ぎ主催者側として福來技師の式辭、來賓祝辭で晴の式を閉ぢ、終つて小宴が張るが時局柄お祭り騷ぎを廢して三夫婦の渡り初めもなく招待範圍もごく狹少である

○。。。鎌田青年銃後奉仕。。。。 市內鎌田町青年團では昨十二日同町出身兵猪狩滿好君一家の稻刈り手傳ひをして感謝された

—兒童は歌ふ— けふ郡下唱歌會

郡教育部會主催の郡下小學兒童唱歌會は今十三日午前九時から平第一講堂で開かれたが參加二十七校、この兒童數約千三百名、第一、二部に分けて父兄達を喜ばせた

寫眞展 今日から公開

地方カメラマン本年度の傑作を一堂に集めた石城寫友會寫眞展は今十三日より明日曜へかけてマルトモホールに於て開催中であるが去る七日のモデル撮影會の收穫が異彩を放ち人氣を博してゐる

大麥增產計劃協議

平市農會では大麥五割增產を目ざし今十三日午後六時からは市內九品寺明十四日午後六時からは元平窪村役場で農事實行組合長會議を開き增產十五町步の耕作計劃につき協議する、現在市內の耕作面積は三十町步である

何とか考案せれば 機能發揮が難づかしい
新世帶平市教育會の惱み

その礎の固き石城の天地に雲の如きペスタロッチの集團として永い間の輝かしい歷史を有する石城郡教育部會から離れて來年から平市教育會が獨立する。平市制の實施が齎らした地方教育界の一波紋たるは云ふ迄も無い
同一事情下に置かるゝ四小學校を一圓とする丈けに漁農山村、炭礦地帶、市街地を一丸とした從來の其れに比べて、統制上有形無形幾多の便宜は生じて來やうが惱みは新世帶に於けるお勝手元の切り廻しにある
何と云つた處で今迄は瘦せても枯れても郡下五十五校八百教員の醵出によつて何不自由無く總てを賄つて來たのであるが、之からの平市教育會は四校百人足らずのこぢんまりした新世帶に良いとして今や押しも押されもせぬ一個の獨立した教育會である以上、縣教育會に對する分擔をはじめ、やれ何の會合かんの催しと大小各般の義理張りに些かつき合ひ負けとなつて來る
そこで外部との交際もする、內部的の事業も遣り度い——と云ふ具合に會の機能を完全に發揮する爲めガソリン捻出には一般民間からも入れて會員を增す以外に差當り方法は無いのであるが之にも一つの惱み
世に『總會荒し』と云ふのがある。入場券的の一株二株を持つて堂々大株主に伍し、大勢に逆行する紕謬の議論を上下して根本から會の空氣を險惡ならしむる
部外からの會員を募集する事前に豫めそうした場合を想像せねばならぬ事は當事者として絕大の苦痛たるを失はない
結局會合の場合などにも責任のある立場に在る教員と同じ樣な氣持ちで穩健中正な言動に出づる底の人物を選つて會員になつて貰ふ樣な事になるらしい形勢に在る‖と最近に於ける某消息通の平市教育會前途觀ではある

薄葉君選ばる
滿洲建國大學へ

磐城中學生薄葉行雄君は滿洲國新京に建設の建國大學へ入學を志願、縣下推薦十名のうちに加はつた、近く第一次、更に明年二月第二次試驗をパスすれば陽春四月開校と共に入學出來るわけ

平署管內消防檢閱日割

平署管內秋季消防檢閱の決定日割左の如く場所は何れも小學校で、磐崎、玉川、小名濱、江名は未定、平は施行濟みである
內郷十二月十二日(金坂グラウンド) 湯本五日 豊間九日 高久十日 夏井十三日 神谷十七日 飯野十一日 上、下小川赤井聯合十二日(赤井第二校) 好間十二日 箕輪十一日 永戸五日 澤渡十一日 三阪十二日 鹿島五日

蛭田一等兵

貝泊村戸草兩角部隊一等兵蛭田玉好君は上海戰線の華と散つた旨十三日原隊から發表された

英靈永へに安かれ
戰死者の家庭

去る六日戰死した兩角部隊一等兵猪谷田深君‖河沼郡野澤町原町出身‖は出征前まで湯本町矢吹自動車部に勤め妻女つるさん(三)長男輝雄君(六)長女たま子さん(三)次男猪男君が現在湯本町に居住してゐる

○錦村山栗出身一等兵星猪一郎君は二十二日上海で戰死した旨十二日村役場に入電一家には日獨戰爭にも戰死者を出してゐる

○。。。。金馬簾下附具申。。。 神谷消防組では組員二百二十五名が協力、道路改修、貯水池新設等の功により平署から金馬簾一條の下附方を縣當局へ具申、尙植田消防組は消防施設公共事業の功績により縣から金馬簾一條を授與された

銃後を騷がす痴漢
出征兵宅に忍び込む

小名濱町古港飲食店作山利雄(三二)は去月五日早曉同町上町三和食堂こと須藤タネさん方の二階女給部屋に侵入したがタネさんに一喝され、電柱を傳はつて逃げ去つたこと發覺、平署の取調べを受けた
タネさんの內緣の夫水越三郎氏は目下皇軍の第一線に活躍してゐる男士、同署では近く住居侵入として書類送檢の筈

○同町では上海戰線の大捷を祝して十日夜全町民三千の提灯行列後各部隊毎に神社に集合武運を祈願、十一日も小學校が主體で旗行列其他によつて萬歲を高唱した

江名町から

○江名町大字江名藝妓置屋大森家方藝妓宗形キノイさん、樋口アキさん、中野文子さんの三人は『わたし達もみ國の爲に……』と率先して國防婦人會に加入した上客から貰つたチップなどを蓄へ、金二十圓を國防費として作山町長の許へ

日用品物價

平市役所調べ去月末現在の日用品諸物價左の如し
白米一等一キロ二四錢 同二等二三、五 同三等二二、五、白麥一五、五 味噌並一貫匁六〇 醬油一升五〇 清酒一、二〇 木炭楢丸一貫目三四 同楢割三二 同雜丸三二 砂糖白百匁一五 豚肉五〇 牛肉六〇

。。。。市役所發兎調べ。。。。 平市役所調査による去月末現在の市內の兎は〆て九百三十一

十四日(小名濱潮汐豫報)

滿潮 前〇、三〇 後〇、四五 干潮 前六、一〇 後七、四〇

十五日

滿潮 前一、四〇 後一、二〇 干潮 前七、一〇 後八、二五

舊十月十二日 日曜 丙午 佛滅 危 心宿 新十一月十四日

東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館 斷判定版權

▲一白 他よりの束ばくを受け思ふこと成りがたき日▲二黑 物事に延たいはあれど心を擬立て氣をくりくな▲三碧 堅實なる精神は成功のゐきに入る門戶ど知れ▲四綠 事業の轉くわん或は心の移動を深く戒むべき日▲五黃 牛の步みは遲くともたゆまざれば遠きに達す▲六白 戀さはなしの種を持込まる、日應分の助力吉▲七赤 能くおよぐ者はおぼると才力以上に及ばぬが吉▲八白 進むに飄忽なる勿れ意外の災を見ることあり▲九紫 商賣上には望けれど不愼の事には過ちあり

舊十月十三日 月曜 己亥 先負 建 張宿 新十一月十五日

▲一白 心に期する所ありても實行力に乏しからん▲二黑 善美なる發達を遂げ爲す所功多く名利學る▲三碧 有望なる日なれば熱誠をこめて萬事に當れ▲四綠 名望あがり尊敬と信用を增すべし開店普請吉▲五黃 午前中の好成績も午後にはげん退すべし注意▲六白 箇略にけつかんを生じさせてつする事あるべし注意▲七赤 物事窮の如く成らず勇氣を失ひ氣力おとろふ日▲八白 辛さんをなめしかう能も現はれずいうつにとざさる▲九紫 靜をんなるを第一とし萬事手ひかへするが安全

廣告

最新式穴の傷まぬ 洋式ドンコ帳簿 一圓、一圓八十錢 二圓五十錢
書く手間が要らぬ デリカ切拔き 住所錄(八名簿) 二〇〇名、三〇〇名 五〇〇名、一千名、 各種
魁文堂 電話313番

國產品で日本を護りませう!
ミツ 防空電球
定價 二十五錢
トウランプ連鎖店にてお求め下さい。

女子店員募集
一、高等小學卒業又ハ高等二年在學中ノ者。年齡十五歲―十七歲迄
一、應募者ハ來ル十一月十七日迄ニ履歷書及卒業成績證明書御提出下サイ
一、委細ハ右期間ニオ問ヒ合セ下サイ
平市二丁目 常陽銀行平支店 電話 三〇、六四三番

第四回 磐城寫友會展
於マルトモ・ホール
十一月十三、四兩日(土、日曜日)
觀覽自由

御挨拶
父の十三回忌で三年振りで故郷へ歸つて來ました 今中通り白河に入つて三春、二本松、福島から順次宮城縣より海岸線を上つて十二月中旬平へ歸ります。思ひ出せば國防博を終つて東海道より私等巡業の一行は越後より信州甲州を出て東海道より伊勢紀州を廻つて京都より山陽線を通り北九州を巡業、今春山口より山陽道大阪を經巡り中仙道を木曾に出て信州より上州と經て福島縣へ第一步を踏み入れたのです。此間藝名華天勝と座名を改め九州、關西等第一等の成績を擧げ且つ興行內容も向上せしめ、父の追善興行の爲なつかしい生れ故郷へ歸つて來ました。事變中各興行界は大打擊を蒙りつゝある中に獨り我一行は皆々樣の御愛顧と御援護の內にあつて無事に巡業をつゞけて居ります。十二月の中旬には久し振りで皆樣に御目にかゝれるかと嬉しく堪へられません。一行四十名許り何れも地方人ばかりなので平へ參つた時は御ひいきをお願致します。
萬國MAGIC聯盟 名華 天勝一座 主幹 伊東一